

令和4年10月17日

関係各位

京都市立堀川高等学校
校長 橋 詰 忍

京都市立堀川高等学校 第24回 教育研究大会のご案内（第二次）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は本校教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、来る11月11日（金）に本校におきまして、第24回教育研究大会を下記のとおり開催いたします。

本大会は、京都市立高等学校教育改革のパイロット校に指定された本校の教育活動を公開し、ご指導とご助言を仰ぐとともに、よりよい高等学校教育の実現に向けて活発な交流を行うために開催するものでございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮しながら、三年ぶりに皆さまに直接ご来校いただき、様々なご意見を直接賜りたいと存じます。

時節柄、ご多用のことと拝察いたしますが、多くの方々にご参加をいただき、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

記

研究大会テーマ

「生徒の自己調整力をどのように育成し、どのように評価するのか」

日 程

令和4年11月11日（金）

8:45 9:30 10:20 10:40 11:30 11:45 12:35 13:45 15:15 15:30 16:15

受付	全体会 I	休憩 (移動)	研究授業 I 公開授業 I	休憩 (移動)	研究授業 II 公開授業 II	昼食・休憩	分科会	休憩 (移動)	全体会 II
----	-------	---------	------------------	---------	--------------------	-------	-----	---------	--------

挨拶 (9:30~)

京都市教育委員会

京都市立堀川高等学校長

橋詰 忍

(1) 全体会 I (9:40~10:20)

令和4年度教育課程と研究テーマについて

本校の令和4年度入学生からの新カリキュラムを組むにあたり、生徒の学びの意欲と自己調整力をより高めることを意図し、特に2つのことを試みた。1つには、生徒が自ら設計した学びを実現できる時間を確保するために、1年次から3年次にかけて週当たりの単位時間数を減らしたことである。もう1つは、生徒が自分自身の学びの目的・目標やその実現に向けて、生徒同士で学習を見通し、分析し、学習の方法を考える力をつけるために、1年次において、クラスで自分が学ぶ目的や学び方の交流をしたり、自分の学びを振り返ったりする「学びのアセスメント」の時間を設けたことである。

全体会 I でこれらの意図と試みについて説明した上で、研究協議では各教科で取り組んでいる工夫や評価の方法について発表し、外部の方と交流・協議したいと考えている。

(2) 研究授業 I (10:40~11:30)

物理研究 I、英語コミュニケーション I

(3) 公開授業 I (10:40~11:30)

古典研究 I + α 、歴史総合、数学 I A、体育、家庭基礎

(4) 研究授業Ⅱ (11:45~12:35)

言語文化、地理総合(当日放映)、数学ⅠA

※地理総合の研究授業は、事前配信も行います。詳細は最後尾をご覧ください。

(5) 公開授業Ⅱ (11:45~12:35)

化学基礎、体育、家庭基礎、英語コミュニケーションⅠ

(6) 分科会 (13:45~15:15)

国語科、地理歴史・公民科、数学科、理科、英語科

(6) 全体会Ⅱ (15:30~16:15)

令和4年度教育課程におけるその他の試み

新カリキュラムにおける1年前期の「総合的な探究の時間」では、生徒が自身の探究テーマについての課題を明確にし具体的な解決手段を考えていくことと、課題を俯瞰し異なる視点で興味・関心を捉えなおすことの双方を意識して、問題を発見し課題を設定する力を伸長することに重点を置いている。これらの力は、「総合的な探究の時間」以外においても有用であり、教科学習を含むさまざまな教育活動で生かせるものである。「学びのアセスメント」の時間との相乗効果も期待している。

一方で、探究における調査・検証といった過程については「理数探究基礎」を設置し、探究のサイクルを実践しながら学ぶようにしている。

*なお、全体会Ⅱでは、理数探究基礎・理数探究を設置または設置を検討している学校の方に、それらの科目と総合的な探究の時間、各教科・科目やその他と取組との関連などご紹介いただき、議論を深めたいと考えています。話題提供をいただける方は、参加申込フォームにご記入くださいますようお願いいたします。

会 場

京都市立堀川高等学校

〒604-8254 京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町 622-2

研究授業

研究授業Ⅰ（10：40～11：30）

授業名	授業内容		授業者 担当クラス 場所
物理研究Ⅰ	タイトル	光	阿部 博之 2年4組 (自然探究科) 物理地学 教室
	概要	光(レンズ、干渉)の実験観察を通して物理の理解を深める。	
	ねらい	日常生活で目にする現象や実験の観察と教科書で学んだ知識から予想されることの差異が生じる理由を探ることで現象と理論の理解を深める。	
英語コミュニケーションⅠ	タイトル	ロイロノートを用いた Writing 指導（CROWN English CommunicationⅠ）	石井 裕子 1年4組 (探究科) S-404
	概要	単元に基づいたテーマについて、ロイロノートを使用し、その場で Writing を共有しながら相互に添削をする。	
	ねらい	Writing を通して相互添削をしながら、論理的思考力・英語力・自己調整力の育成をねらう。	

研究授業Ⅱ（11：45～12：35）

授業名	授業内容		授業者 担当クラス 場所
言語文化	タイトル	芥川龍之介『羅生門』	中村 説子 1年3組 前半 (探究科) S-403
	概要	『今昔物語集』との比較を通して、芥川龍之介が『羅生門』で構築した世界を探る。	
	ねらい	他作品との比較で、作者の意図を理解し、小説教材の読みを深める。	
地理総合	タイトル	地球的課題と国際協力：人口・食料問題	藤田 駿 1年6組 (探究科) 事前配信・ 当日放映
	概要	アフリカを事例として、飢餓の発生要因とその解決策を考える。	
	ねらい	食料不足という現象が発生する要因について、前期に学習した事項をもとに、生徒が主体的に考察できるようになる。また、この現象に対する解決策を考える活動を通して、生徒の課題研究に対する視座を養う。	

数学 I A	タイトル	カンニングペーパーをつくろう	永田 悠弥 1年4組 (探究科) S-404
	概要	カンニングペーパーをA4片面1枚に作成、持ち込んで30分試験を受ける。試験後、作成したカンニングペーパーの交流・共有・振り返りを行う。	
	ねらい	学びを自己調整するためには自分がどこまで理解できているかの「理解の最前線」を調べることは必須の営みであると考え。A4 片面 1 枚という限られたスペースにカンニングペーパーを作成することによって、理解している内容と理解していない内容を主観的にはあるが、分類することができる。作成したカンニングペーパーへの記載の有無と試験での正否の組み合わせや、交流・共有・振り返りによって、試験後の自学自習の指針を立てさせる。	

公開授業

公開授業 I (10 : 40～11 : 30)

古典研究 I + α 、歴史総合、数学 I A、体育、家庭基礎

公開授業 II (11 : 45～12 : 35)

化学基礎、体育、家庭基礎、英語コミュニケーション I

分科会

分科会 (13 : 45～15 : 15)

分科会 国語科	テーマ <言語文化>を育てる	
<p>研究授業では、『今昔物語集』を読んできたうえで『羅生門』を読み、二作品の相違から作者が『羅生門』で表現したかったことに気づき、それぞれの項目・テーマに分かれた生徒間の話し合いで考えを深め、まとめることを目標とする。研究協議では「言語文化」での小説の授業のあり方についてと、評価についての意見交流を図りたい。</p>		
発表 中村 説子	司会 寺坂 翔平	記録 中川 愛
助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事		加藤 健 氏

分科会 地理歴史・ 公民科	テーマ 単元を超えたつながりと「主体的に学習に取り組む態度」の評価	
<p>分科会では、まず今回の研究授業におけるねらいや単元指導計画などを中心に研究協議を行う。その後、研究授業を踏まえつつ、単元を有機的に関連させる授業づくりの方向性と、その際に必要となる「主体的に学習に取り組む態度」の評価のあり方について、意見の交流を図りたい。</p>		
発表 藤田 駿	司会 溝端 梨沙	記録 乾 凜久登
助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事	滝本 順之 氏	

分科会 数学科	テーマ 自己調整力につなげる理解の最前線	
<p>分科会の前半では、授業自体についての協議、特に今回の授業内容が、自らの理解をメタ認知させ、自学自習の指針を立てさせるものとして適切であったかを検討する。</p> <p>後半では、前半の内容を踏まえて少し一般化し、「自学自習」そのものを議題とする。学習において「自学自習」をした方がよいことは当然であるが、質の高い自学自習のために前提となることは何か、どのような働きかけが可能か。今回の授業を通して感じたこと、参加者がかねてから思っていたことについて議論をして、アイデアの共有を図る。</p>		
発表 永田 悠弥	司会 續木 俊哉	記録 中野 高志
助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事	岡本 弘嗣 氏	

分科会 理科	テーマ 理論と観察結果の結び付けができる生徒の育成	
<p>研究授業では、既習の知識を用いて自然現象を説明することを試みる中で、生徒自身が理解の不十分さを認識したり、理解を深めることを狙った。</p> <p>分科会では、まず、研究授業のねらいが効果的に作用したかについて議論する。次に、生徒がこれまでに習得してきた知識や理論、現象について、知ると分かるの境界を明確に認識し、知ることから分かるに至る学びの変遷を支援するための仕掛け、指導法、適切な題材について意見交流を図る。</p>		
発表 阿部 博之	司会 桐原 聡太	記録 更家 信
助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事	安川 隆司 氏	

分科会 英語科	テーマ 学びのアセスメントを活かした自己調整力の育成をめざして ～ライティング指導と観点別評価に着目して～	
<p>前半は、研究授業についての研究協議を行う。 後半は、研究授業に関連して4技能5領域のうちアウトプットを担うWritingとSpeakingに着目し、各校の観点別評価の実施状況・評価方法の共有、検討を行う。また、今年度から本校で実施している「学びのアセスメント」の時間を使用したWriting指導と自己調整力の育成についても報告する。</p>		
発表 石井 裕子	司会 松宮 正義	記録 川部 佳菜子
助言者 京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事		田中 佑明 氏

お申し込み方法 参加費・資料の配布について

- (1) 参加費： 無料
- (2) 参加対象： 学校関係者，教育関係者
- (3) 申込方法・申込期間：

令和4年10月17日(月)～10月31日(月)13時

検索サイトから、[堀川高校 研究大会 2022](#) で検索し、本校webサイトをご確認のうえ、「申込フォーム」よりお申込み下さい。
右のQRコードから「申込フォーム」を開くことも可能です。



地理歴史・公民科研究授業の事前配信について

地理歴史・公民科の研究授業は、YouTubeによる事前配信（限定公開）をさせていただきますので、視聴をご希望される方は、申込フォームにおいてチェックをお願いいたします。なお、当日も同じ映像を研究授業Ⅱの時間帯に校内でご覧いただけます。

＜本研究大会のお問い合わせ先＞

京都市立堀川高等学校 研究部（担当：遠，米原）
メール：kenkyu2022info@horikawa.ed.jp
電話：075-211-5351

以上